

協議事項（１）

小林線の課題解決の方向性について

１ 主旨

J R 小林駅と印西牧の原駅・印旛明誠高校を結ぶ小林線及び滝野循環線については、地域公共交通会議における「協議路線」として、平成２９年４月１日より一般乗合旅客自動車運送事業の引き継ぎを受け、ちばレインボーバス株式会社が運行して参りましたが、依然として厳しい状態であり、コロナウイルス感染症拡大の影響による収支率の悪化も重なっている状況となっております。前回の地域公共交通会議において、当該路線の現状と課題について、報告させていただきましたが、本会議において、具体的な課題解決の方向性について、お諮りさせていただくものとなります。

協 議 事 項

令和4年10月17日
ちばレインボーバス株式会社

小林線の課題解決の方向性について

前々回（2022年 5月18日書面開催）及び前回（2022年 6月21日）の地域公共交通会議にて、「小林線の現状と課題について」のご説明をさせていただきました。

今般これを受けて、具体的な課題解決の方向性について、以下のとおりご協議願います。

記

1. 課題解決の方向性

- (1) 減便による輸送力縮減といった、コスト圧縮による収支バランスの均衡化
- (2) 運賃改定等による収入増を図ることによる、収支バランスの均衡化

2. 今後の進め方

上記(1)の施策の場合、輸送力を大幅に縮減しても劇的な収支改善は望めず、一方で相当のお客様の逸走を招き、結果的に収支バランスが均衡しません。

※収支率の推計値

①現行(3両運行・64便運行)

収支率 60.8% (小林線・滝野線全体)

②夕方～夜間時間帯減便：50便(3両)運行・▲14便(▲21.9%)

収支率 61.9%(収入 15.2%減 費用 16.7%減)

※効率ダイヤ化効果による収入逸走の縮減(5%分)を盛り込む。

③2両運行：33便運行・▲31便(▲48.4%)

収支率 65.4%(収入 39.9%減 費用 44.5%減)

④1両運行：17便運行・▲47便(▲73.4%)

収支率 65.3%(収入 70.0%減 費用 72.2%減)

※大幅な減便の為、②案実施分以降、逸走を15%見込む。

他方、当該路線の現行の運賃は、他の一般路線と比べて非常に安価な設定となっており、正当な受益者負担の原則に照らし合わせても、課題があります。

⑤現行当社一般路線運賃適用

収支率 89.4%(収入 53.5%増 費用変わらず)

●当社他路線の運賃を適用した場合

例	印西牧の原駅北口～小林駅	210円(中高生120円)→330円
	印旛明誠高校～小林駅	210円(中高生120円)→410円
	印旛明誠高校～印西牧の原駅北口	170円(中高生100円)→170円

※運賃値上げによる逸走を8%見込む

以上のことから、上記(2)を方向性としたいと思います。

以 上